

「楽しくなければ老後じゃない」

武田 勝彦 (S12: 埼玉)

私は現在二つの「会長」職を仰せつかっております。一つは地元老人会の会長です。これはボランティアですが、些か難儀しております。会員数の減少です。日本は高齢化社会だと言いつつ老人会の会員が減っているのは全国的な傾向で、高齢でも働く人が増えていることと「老人」のイメージを嫌う人が多い等が主な理由のようです。最近「シニアクラブ」と呼ぶようになっておりますが、そんな小手先の対応では解決できないのが現状です。

行政との対応も面倒で、多少の補助金はあるものの、決算報告・行事報告・年度計画策定などの煩雑な事務は結構面倒です。これらはいわば公務でそろそろ辞めたいのですが、後継者もおらず、会を楽しみにしているお年寄りのことを思うと簡単にはやめられません。

もう一つの会長職は「東京遊歩会」です。これば文字通り「遊び歩く」会で、毎月一回、通常は都内の名所旧跡や公園等の由緒あるところをめぐり、ほぼ1万5千歩ほど歩きます。昼は公園で弁当と缶ビール、午後の散策の後は「反省会」と称して駅前の安い店で一杯飲みますが、これが実は楽しみなのです。



毎年12月には、総会を兼ねて貸切バスで1泊2日の温泉旅行を行います。去年は群馬県の「法師温泉」(混浴です)に行きましたが、飛行機で八丈島へ行ったこともあります。日帰りでの遠出もありで、薩埵峠(静岡県)や信玄の棒道(長野県)等々。



現在会員は61名、やや女性が多く60代～80代とほぼ高齢者。毎回30数名が参加、うち半数が「反省会」に参加します。

「東京遊歩会」は今年10月に359回目、設立30周年を迎えます。私は会歴23年の二代目会長ですが、会の創設者で事務局長の〇氏を助けてますます会を盛り上げた

と思っています。悩みは最近の物価高です。貸切バスも宿泊代も随分高くなりましたので、普段の月はS・K・D（「質素」「儉約」「ダイエット」）の3文字を守って、「反省会」も極力「安く上げる」よう心がけております。

「遊歩会」のほかに「五人会」というのもあり、これは幹事回り持ちでそれぞれ馴染みの店を月に1回巡っております。

以上、何だか飲み歩きが多いようで、これは楽しみなのですが「反省」点でもあります。しかしながら、「老人会」にせよ「遊歩会」にせよ、この年になると人との交わりが大切だと思います。人生の一生に一度しかない「老後」を楽しまないと勿体ないでしょう。そう思って毎日楽しく過ごしております。